

修学旅行報告

2 学年会

1 はじめに

本校は本年度創立 80 周年を迎えた。その歴史をたどっていく中で、本校設立当初の修学旅行は、古仁屋から名瀬まで歩いて実施したという記述を見つけた。当時はトンネルも開通していなかったもので、途中住用で一泊して名瀬まで行ったのだそうである。昭和 27 年におがみ山で撮られた修学旅行の記念写真には当時の古仁屋高校生が生き生きと写っていた。いつの世も修学旅行は学生生活を彩る最高のイベントである。どこに行くか、何を学ぶかということも大事ではあるが、何よりも仲間との絆を深められることが修学旅行の意義である。今年は大阪・奈良・京都を研修場所とし、3泊4日のスケジュールで、瀬戸内町からの支援も頂き、恵まれた条件で旅行を実施できた。その中で生徒達が何を見て、どのように感じたか、旅行の様子を生徒の感想を交えながら報告する。

2 行程

日次	月日(曜日)	発着等	交通機関	日 程	宿 泊
1	12 / 7 (火)	古仁屋発 奄美着 奄美発 伊丹着 伊丹発 大阪着	バス 飛行機 バス	11:00 古仁屋高等学校発 13:00 奄美空港着 14:15 奄美空港発 15:45 伊丹空港着 16:15 伊丹空港発 16:55 大阪城公園着 17:35 大阪城公園発 18:15 ホテル(大阪)着	大阪泊
2	12 / 8 (水)	大阪発 奈良着 奈良発 大阪着 大阪発 京都着	バス	7:30 ホテル(大阪)発 8:50 奈良公園着 10:10 奈良公園発 11:30 ユニバーサルスタジオジャパン着 17:30 ユニバーサルスタジオジャパン発 19:00 ホテル(京都)着	京都泊
3	12 / 9 (木)	京都	バス 地下鉄・バス等 バス	8:00 ホテル発 8:40 京都市内自主研修 ～ 17:00 17:40 ホテル着	京都泊
4	12 / 10 (金)	京都発 大阪着 大阪発 伊丹着 伊丹発 奄美着 奄美発 古仁屋着	バス 飛行機 バス	7:30 ホテル発 9:00 大阪造幣局着 9:50 大阪造幣局発 11:50 伊丹空港着 12:50 伊丹空港発 14:35 奄美空港着 15:00 奄美空港発 17:00 古仁屋高等学校着	

3 旅行の記録

12月7日（火）

いよいよ出発の日。飛行機の時間に合わせ、集合時間は10時半に設定してあった。日頃から遅刻が少なく、時間はしっかり守る生徒たち。やはりこの日も5分前には全員集合。体調も良さそう。玄関前での出発式を終えてバスに乗り込み、定刻通り出発。

バス・飛行機での移動はほぼ予定通りに進んだ。



飛行機の離発着の際は感動？の声も。大阪伊丹空港が近づくと皆の視線は眼下に広がる都会の景色に釘付け。（生徒Uの感想「飛行機の中から見た大阪はまるでトミカの世界のようだった。」）12月に入っても最高気温20度近くの奄美大島からいきなり10度を下回る関西へ。その気温差を少し心配したが、生徒達は元気だった。（生徒H「最初大阪に着いたときは寒いと感じた。」生徒T「みんなが言うほど寒いとは思わなかった。」）



空港でバスに乗り込み、初日唯一の訪問地大阪城へ。

バスガイドさんは話し上手で、すぐに生徒たちと打ち解け、移動中も楽しく飽きることがない旅に。大阪城に着く頃には日も暮れかかり、風も冷たくなってきた。美しくライトアップされた大阪城を背景に、この旅最初の記念写真撮影。残念ながら入館時間を過ぎていて天守閣に登ることはできなかった。



（生徒S「中に入りたかった。」生徒N「大阪城は思ったより大きかった。そしてきれいだった。」生徒I「外国人観光客からプリンセスと言われた！」）



大阪城を出て、初日の宿泊地大阪チサンホテルへ。バスの中ではバスガイドさんと生徒Iとの間で漫才のようなやりとりが……。笑っている間にホテルに到着。この日は昼が軽食だったということもあり、部屋に荷物を置くと、皆すぐに夕食会場に。生徒Nの「合掌！いただきます！」の号令で、皆旺盛な食欲を見せてくれた。体調不良を訴える生徒もなく無事初日を終えた。（職員S「…肉……切れないっすよねえ。」）

12月8日（水）

旅行2日目。朝6時起床と早かったにも関わらず、全員時間通りに朝食会場に。体調不良者もなく、予定通りに奈良へ向けて出発。賑やかな大阪の街を進み、長いトンネルを抜けて奈良に入ると、町並みはだいぶ落ち着き、古都奈良の雰囲気。バスの中から復元された朱雀門も見ることができ、遷都1300年の歴史に思いを馳せているうちに奈良公園に到着。

公園内は専門のガイドさんの案内で観光。ガイドさんの調子が良すぎて、ちょっと早足になってしまったが、金剛力士像や大仏はやはり見応えのあるものだった。大仏殿の柱のなかの一本に空いている穴、これが大仏の鼻の穴と同じサイズ。この穴をくぐると、無病息災のご利益がある

とされている、いわゆる「大仏さんの鼻の穴くぐり」。これに挑戦した生徒もいた。（生徒I「大仏は迫力があった。」生徒U「大仏の鼻の穴を通してうれしかった。」生徒N「ガイドのおじさんがユニークで楽しかったが、もう少し自由時間がほしかった。」）



一通り公園内を巡り、最後は鹿と戯れる時間。餌やりの仕方を教わり、おそろおそろ鹿煎餅をやる生徒たち。きちんとお辞儀をしてから煎餅をねだる鹿もいれば、そんなことお構いなしで頭突きを食らわしてくる鹿もいて……半泣きになっている生徒もいた。（生徒H「シカにおそわれました…。でもかわいかった。」生徒S「シカにかまれて痛かった。」）

奈良公園を後にして、再び大阪へ。2日目のメイン「ユニバーサルスタジオジャパン」到着。生徒たちがこの旅の中でも特に楽しみにしていた場所。11時から17時



までの約6時間、たっぷり楽しんだ。様々なアトラクションの中で1番人気はやはりジェットコースター。3回乗ったという生徒も。



朝から乗り物酔いでふらふらの私、職員Gはその話を聞いただけでめまいが…。平日ではあったが、他校の修学旅行生も多く、クリスマス前の

ストリートパフォーマンスやパレードもあり、巨大ツリーも飾られており、賑やかな雰囲気十分に味わえたUSJであった。（生徒K「いろいろなアトラクションに乗れた。買い物も楽しかった。」生徒T「友達と回るので、楽しさ倍増だった。」生徒S「並ぶのは大変だったが、並んで後悔はなかった。」生徒I「並ぶのも良い経験。外国に行った気分だった。」多くの生徒「楽しかった。また行きたい。」）



2日目の宿は、京都大原の民宿「大原の里」。広い道路でバスを降り、宿までの細い坂道を5、6分のぼって到着。宿は翌日まで連泊で、ほぼ貸し切り状態。和室に4、5人ずつが泊まる、いかにも修学旅行という雰囲気。温泉は露天湯付きで、寒空の中その湯につかった生徒も。夕食は皆で温かい鍋を囲んだ。生徒たちはこの日も食欲旺盛。夕食後、「ぜひ」という宿からの勧めもあり、近く



のかの有名な「三千院」の僧侶の説法を聞くことになった。人生でいちばん大切なものは何かを皆で考えてみた。そして、隣の人と両手を合わせ、そこから相手の感情を感じとれるか試してみた。感じること・体得することの大切さを教えていただく、貴重な体験となった。

（生徒K「ゲーム形式で楽しみながら勉強になった。」生徒U「難しい話をわかりやすく話してくれた。でも疲れていたなので早く部屋に戻りたかった。」）



12月9日（木）

3日目。朝は昨日よりはゆっくりめ。体調不良者もなく、予定通り京都市内自主研修に出発。

二条城前で記念写真を撮った後に、各班に分かれていよいよ研修開始。バスの路線図を見ながら目的地を目指す

生徒たち。朝の通勤者と修学旅行生でバスは満席に近い状態。やはり乗り方に一番苦労したようで、計画通りにいかなかった班もあったようだ。

この修学旅行4日間は天気恵まれ、大きく崩れることはなかったが、この3日目の午後、少し雨が降った。生徒たちはどこで雨宿りをしたのだろうと思いながら、



雨の四条通を歩いた。寒いと聞いていた京都だったが、あちこち歩いている分には寒さを感じることもなく、風情豊かな京都の町並みを楽しむことができた。紅葉にもぎりぎり間に合い、清水寺は鮮やかな紅や黄に囲まれていた。（生徒H「最初から迷子になった。でもいい経験になった。」生徒K「教科書で見た建造物などを間近に見ることができていい経験になった。」生徒T「道に迷い大変だった。でも京都の人は親切で『どこからきはったん?』『どこいきはるん?』

と声をかけていただきうれしかった。」）

集合は出発と同じ二条城前に17時となっていた。生徒たちは16時半頃から、タクシーやバスで次々に帰ってきた。皆大きなお土産の袋を抱えている。17時を若干過ぎた生徒もいたが、全員無事に研修を終えることができた。それぞれに思い出を作った一日であった。（生徒Y「バスの乗り方もわかって社会学習になった。」生徒A「遅刻してすみませんでした。」）この日は宿に帰ってからゆっくりと過ごすことができ、各部屋で友人同士楽しく最後の夜を過ごした。（生徒H「友達とはしゃいだホテルの中もいい思い出になった。」職員O「おれが大富豪になるまでは寝かせないぞ。」）



12月10日（金）

最終日。京都から大阪へ移動。渋滞を避けるため滋賀県側を通っていった。結局交通量が多く時間短縮とはいかなかったが、車窓から琵琶湖を見ることができた。仲良くなったバスガイドさんともこの日でお別れ。「京都大原三千院♪〜」の「女ひとり」と京都弁版「ドラえもん」を歌っていただいた。（生徒Y「バスガイドさんがかわいくて、おもしろくて、歌が上手だった。」生徒N「バスガイドさんからためになる

話しがたくさん聞けて勉強になりました。」）

最後の訪問地は「大阪造幣局」。時間が無くてゆっくり見るわけにはいかなかったが、硬貨の造られる仕組みや貨幣の歴史はおもしろかった。（生徒K「Kittyちゃんの硬貨がかわかった。」）

4日間にわたる修学旅行もいよいよ終わり。伊丹空港でバスガイドさんともお別れし、機上の人に。さすがに帰りは疲れた様子。お土産を両手に抱え、学校に到着したのは夕方5時。皆が大きな事故やけがや病気などもなく帰ってこられたことが何よりであった。

（生徒I「またこのメンバーで旅行がしたい。」生徒S「抹茶ソフトクリーム感謝。」多くの生徒「高校生活一番の思い出になった。充実した楽しい4日間だった。」）



